

2024(令和6)年は西区制80周年

知ってる?

西区のむかし

西区文化協会は1981(昭和56)年の創立。創作・芸能・茶道部門に分かれて活動しており、誰でも加入できます。「にしぶんか」は創立から5年後に発刊されました。西区に密着した文化と歴史、地域に隠された趣あるエピソードを交えて、温故知新を語り継ぐ広報誌です。地域振興課(区役所4階48番窓口)でお渡ししています。



2024(令和6)年に西区は80周年を迎えました。これを記念して、西区文化協会が発行している広報誌「にしぶんか」から、これまでの西区の歴史をひも解いていきます。ぜひ西区のむかしに思いをはせてみてください。

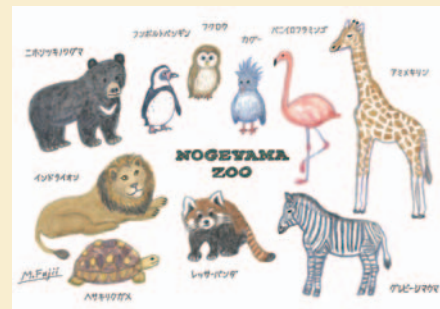
第6回

野毛山動物園

……にしぶんか No.34 から

日本貿易博覧会場は、博覧会終了2年後の1951(昭和26)年に野毛山遊園地として生まれ変わりました。大きな遊具は鶴見区の花月園から移築されたものでした。博覧会場で人気があった動物園は遊園地の一部として開園。インドゾウの「はま子」、ラクダの「ツガル」などの大きな動物が翌年までにそろいました。現在は2頭のレッサーパンダを含む約90種の動物がいます。遊園地部分は貯水池建設のため1972(昭和47)年に閉鎖、「野毛山動物園」に名称変更されました。

遊園地の一部だった時代を含めて動物園は2021(令和3)年4月に開園70周年を迎えました。市内には他に金沢動物園、横浜動物園ズーラシア、万騎が原ちびっこ動物園が誕生し、野毛山動物園の廃園が検討されました。しかし、交通の便利さや入園料が無料なことにより、子どもたちが手軽に訪れて動物と触れ合える場として存続が決定。今に至っています。



文化協会員が描いた野毛山動物園の動物たち

問 西区文化協会事務局(地域振興課内) Tel.320-8392 fax 322-5063